

【所属名：福祉事務所】

【会議名：糸魚川市地域自立支援協議会】

会 議 録

作成日 令和5年3月31日

| | | | | | |
|-----|--|----|------------|------|----------------------|
| 日 | 令和5年3月16日(木) | 時間 | 9:30~10:35 | 場所 | 糸魚川市役所2階 203.204 会議室 |
| 件名 | 令和4年度 第2回糸魚川市地域自立支援協議会 | | | | |
| 出席者 | 【出席者】 委員：斉木委員、大谷委員、牛木委員、岡尾委員、横澤委員、吉井委員、富井委員 芋川委員、野本委員、中村委員、安井委員、岡崎委員、山本委員 事務局：地域生活支援センターこまくさ 内藤管理者 磯貝相談員 福祉事務所 磯貝所長、塚田次長、山岸係長、仲谷主査 【欠席者】大久保委員 | | | | |
| | 傍聴者定員 | — | 人 | 傍聴者数 | 0人 |

会議要旨

進行(事務局)

1 開会

要綱の規定により、委員の半数の出席であるため、本会は成立

2 福祉事務所長あいさつ

現代社会には多種多様な問題がある。人材不足や貧困問題などは福祉分野の課題に通じている。

障害福祉においては、障害者総合支援法及び児童福祉法一部改正の施行後3年の見直しにおいて、基本的な考え方として「障害者希望する地域生活を実現する地域づくり」、「社会の変化等に伴う障害児・障害者のニーズへのきめ細かな対応」、「持続可能で質の高い障害福祉サービス等の実現」の3点があげられている。社会資源に限られる当市においてはいずれも重要な課題であるが、おひとりおひとりの顔がわかる地域でもあるため、ニーズの汲み取り、関係者連携などがしやすいというメリットを生かしていきたい。

3 報告・協議事項

(1) 今年度の取組みについて

資料No.1により事務局より説明

(2) 第7期糸魚川市ささえあいプランのアンケートの実施状況について

資料No.2により事務局より説明

(牛木会長) 今回からWebでの回答もできるようになり、よかったとの声を聞いた。

(3) 来年度の地域自立支援協議会について

資料No.3により事務局より説明

(牛木会長) 居住部会がなくなるが、居住に係る部分はどのようになるか。

(事務局) 部会としてはなくなるが、基幹型相談支援センターなどの課題は引き継いでいく。

(山本委員) 部会の内容がよくわからない。

(事務局) 事務局としても絞り切れていない部分がある。運営本部会議の中で検討していく。

(吉井委員) 糸魚川市は「3色の会」があったこともあり、県下でも早いうちに自立支援協議会が立ちあがった。人材不足など地域課題は多くある。それらを解決していくには気持ちのある人が大切。基幹型相談支援センターを中心に事業を組み立てていくこともよいのではないか。

(事務局) やってみてということもあるが、柔軟に対応していきたい。

(4) 意見交換・情報交換

① 令和4年 障害者雇用状況の集計結果（糸魚川公共職業安定所提供資料）

(富井委員) 精神障害での雇用について、雇用されている人の主な疾患名は何か。

(芋川委員) 以前は統合失調症が多かったが、現在は双極性障害、うつ病などが増えている。

(富井委員) 障害種別による雇用定借率はどのようになっているか。

(芋川委員) 身体障害、知的障害と比べると精神障害のある人の雇用定着率は低い。主な原因は、雇用主側の病気や障害への理解不足、本人の体調変化と思われる。

(富井委員) 発達障害のある人からの相談は増えているか。

(芋川委員) 窓口対応をしても、相談件数は増えているように感じている。就労については、うつ病の人よりも難しい面がある。

(吉井委員) 就労先の業種などはどのようになっているか。

(芋川委員) いろいろとお願いしているが、仕事がないと言われることが多い。特に建設業などからと言われることが多い。

② 個別の教育支援計画について（高田特別支援学校白嶺分校提供資料）

中村委員より、説明

4 その他

事務局より、令和5年4月「また明日 糸魚川」が開設されること、令和5年1月から「J With You」のサテライトオフィスが整備されたこと等が報告された。

また、発達障害への理解促進のためカードサイズの啓発チラシを作成し、市内関係機関で気軽に手にしてもらえよう、トイレなどに設置したことが報告された。

5 閉会